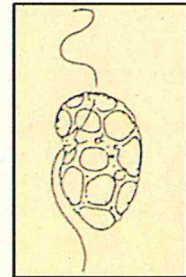


赤潮警報第3号(第3報)

令和5年(2023年)6月19日
山口県水産振興課

漁業者の皆様へ 徳山湾でヘテロシグマ アカシオが 発生しています!

| | |
|--------|---|
| 調査日 | 令和5年(2023年)6月19日(月) |
| 発生海域 | 徳山湾 |
| 赤潮構成種 | ヘテロシグマ アカシオ(<i>Heterosigma akashiwo</i>) (好適水温:20~24℃、好適塩分:22~29psu) |
| 着色海域の色 | 茶褐色 |



大きさ:8~25μm×6~15μm

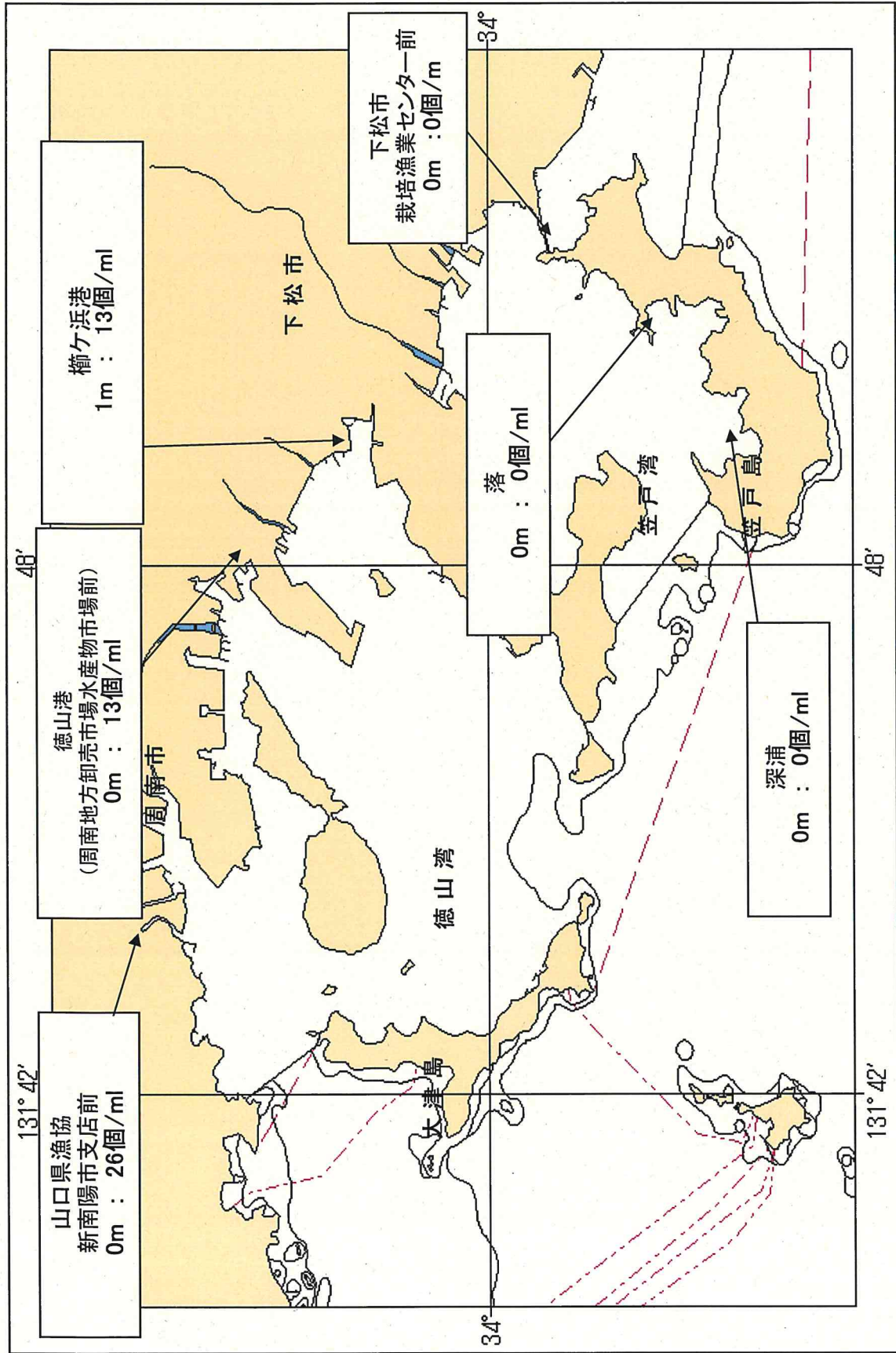
| 観測場所 | 調査結果 | | 備考 |
|---------------------|-------------|----------------|------------|
| | ヘテロシグマ アカシオ | カレニア ミキモトイ(参考) | |
| 下松市笠戸島(深浦) | 0個/ml | 0個/ml | 21.8℃-水深0m |
| 下松市笠戸島(落) | 0個/ml | 0個/ml | 22.7℃-水深0m |
| 下松市栽培漁業C前 | 0個/ml | 0個/ml | 20.5℃-水深0m |
| 櫛ヶ浜港 | 1個/ml | 13個/ml | 21.5℃-水深1m |
| 徳山港(周南地方卸売市場水産物市場前) | 0個/ml | 13個/ml | 22.6℃-水深0m |
| 山口県漁協新南陽市支店前 | 51,116個/ml | 26個/ml | 24.6℃-水深0m |

| 特記事項 |
|--|
| ヘテロシグマ アカシオ【赤潮注意報:5,000個/ml以上、赤潮警報(魚類へい死目安):50,000個/ml】 ○本種は、水深の浅い海域では上下動を繰り返し、日中は表層に、夜間は底層に濃密に滞留します。 ○本種は、日中は光合成による過飽和酸素状態に、朝方は増殖・呼吸等による貧酸素状態にさせて、魚類をへい死させる有害プランクトンです。 ○本種赤潮の主な発生時期は、5~7月(梅雨時期)と10月(秋雨時期)です。 |
| カレニア ミキモトイ【赤潮注意報:100個/ml以上、赤潮警報(魚類斃死目安):5,000個/ml】 ○本種は過去、 本県で最も大きな漁業被害が発生した プランクトンです。 ○本種は中層・底層を中心に増殖し、パッチ状になって上下動を繰り返すことから、海面からの観察では海水の着色が判別しにくいプランクトンです。 ○このため、 海面が着色していなくても、魚介類の斃死を起こすことがあります ので、十分に注意して下さい。 ○また、 室内実験ではアワビは150個/mlで衰弱、死亡が確認 されています。 |

- ### 留意事項
- 今後は、漁港内での蓄養は避けて、活けメ出荷等の対策を講じてください。また、養殖魚等は深い生け簀を活用し、赤潮発生時には代謝を抑えるために餌止めをし、早期出荷などの対策も検討してください。漁船の活け間内のスカッパを閉めて航行するなど、赤潮を含んだ海水が流入しないよう注意してください。
 - なお、県は引き続き調査を実施して参りますので、赤潮の発生・魚介類のへい死などが確認された場合は、漁協を通じて関係市・農林水産事務所水産部に速やかに通報してください。
 - また、赤潮による漁獲物のへい死等については、漁業被害救済基金の対象となる場合がありますので、漁獲物の処分等は行わず(被害数量等の確認が必要のため)、速やかに漁協を通じて関係市町・農林水産事務所水産部に通報してください。

※県内の赤潮情報については、海鳴りネットワークのホームページでもご覧いただけます。
→<https://www.pref.yamauchi.la.jp/soshiki/108/21929.html>

令和5年度赤潮警報第3号
【カレニアアミキモトイ】



令和5年度赤潮警報第3号
【ヘテロシグマアカシオ】

令和5年6月19日

